

『京都大学高等教育研究』の発刊に当たって

このたび開設1年目を機に、高等教育教授システム開発センターの研究紀要として、『京都大学高等教育研究』創刊号をまとめることになりました。本号は、去る3月2日に主催した「第1回 大学教育改革フォーラム」の全容を再現するとともに、センター所属の各教官による論稿の他、学内から寄稿していただいた諸論策を収録しています。お忙しい中にも拘らず、フォーラムでの発言内容をおまとめいただいた各先生をはじめ、貴重な論稿をお寄せくださった先生方に、この場を借りて衷心より厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり本センターは、京都大学が自らの教育改革を、組織や財政といった外側からではなく、我々自身の日常の教育活動そのものに関わって、むしろ「内側から」進めていく拠点として構想されました。それゆえ本センターの活動には、所属の教官だけではなく、全学の、そして更には学外の方々にも、様々な形で参加していただくことを考えております。「ファカルティ・ディヴェロプメント」にいろいろな角度から関心をお持ちの方々が幾重にも自由な交流を重ね、それを通じて個性豊かな知見や経験や工夫が織り合わされ、全体として生き活きたプロダクティヴィリティが自ずと醸成されてくる拠点となることが出来ればと念願しております。

つきましても、そのようなセンターの性格を反映して、本誌がますます開かれたアリーナへと充実して参りますよう、今後とも、学内外の志と関心を共有する皆様方の積極的なご支援ご協力を切にお願いする次第であります。

平成7年6月30日

高等教育教授システム開発センター長

岡 田 渥 美